

「滋賀のお漬物フォーラム」で周知活動を行いました

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年2月17日（土）に滋賀県大津市の「コラボしが21」で開催された「滋賀のお漬物フォーラム」（主催：滋賀県）にて、周知活動を行いました。

「地元食材で健康力アップ」をテーマとしたこのイベントでは、食文化研究科の向笠千恵子氏による講演「漬物ですこやかライフ」や、龍谷大学農学部による滋賀県漬物協同組合との共同研究の発表「つけもの開発を通じた地域との連携活動について」などが行われました。

そして、漬物に欠かせないのが「塩」。イベント内では、滋賀県漬物協同組合による「近江の伝統野菜と漬物」のPRも行われましたが、株式会社ソルト関西（全国塩元売協会会員）は、同組合の依頼を受けて、このPRの中で、漬物に欠かせない「塩」についての説明を行いました。

塩は漬物に欠かせないものであるだけでなく、私たちの体内で色々な役割を果たしており、生きていく上で欠かせないものであることを説明したほか、運動のリーフレットを配布して、食だけに限らない塩と暮らしの関わりについてもお伝えしました。

イベントは100名限定の事前申込み制でしたが、早い時点で定員に達したとのことで、当日は、食と健康や、地元の伝統野菜・伝統漬物に興味のある方々で盛況でした。

そのような方々に、塩の大切さや、塩と暮らしの関わりについて、改めて知っていただくことができました。

